



人は言葉、象は牙

三年次主任 鈴木優子

広辞苑で「進路」を引くと、「進みゆく道」「ゆくて」と書かれてあります。そこで、私の「進みゆく道」に影響を与えた体験を述べてみたいと思います。

カンボジア国境のベトナムに近い場所にスバイリエン州という地域があり、そこにプレイチャンボック村があります。そこは、電気が通っていません。水道もありません。夏は連日四十度を超す暑さです。もちろんエアコンも冷蔵庫もありません。二〇〇七年の夏、あるNPO法人の紹介で、私はそこに一週間ほど滞在することになりました。

英語の勉強をしているというので、教科書を見せてもらいました。準一級レベルの難しい単語が並んでいました。わかるの？と聞くと、わかると答えました。村の中学生、恐るべし。その家の居間には、車のバッテリーが置かれてありました。電気が通っていないので、それで明かりをつけます。バッテリーの配線から、直接電灯側の配線につながると明かりがつくのです。朝になるとプイさんが朝食を作ってくれます。毎日早朝からけたましく鳴いていた鶏の声が今日はないなと思つたら、鶏スープになって出てきました。食事にはスプーンとフォークを使います。フランスの植民地時代の名残のようです。白米とスープが基本です。このスープがまた味付けがやさしくおいしいのです。家の裏にはトイレという名の穴が一応あります。

だが、私を含め家族一同、そのトイレにこだわらず、比較的自由に原っぱを使用していました。プイさんに小学校を案内してもらいました。徒歩で二時間程度です。小学生はサンダルか裸足で登校します。私は小学校に着いた頃にはへとへとでした。四〇度の猛暑の中、舗装されていない赤土の道を二時間歩くのですから。小学校は細い木の柱に薄いトタンを載せたものでした。一年生は八五名。学年が上がるとう児童がどんどん減っていきます。家の手伝いや経済的な理由で学校を続けられなくなるのです。算数の授業を参観しました。ノートのない子は石板にチョークを使っていました。日本のポングリエン(クメール語で教師)がきたということで、教壇に立たせてもらえることになりました。私が子供達に英語と日本語どちらの授業がいい？と聞くと、ほぼ全員から英語といわれました。英語はお金になるものね。ペアになり、英語で自己紹介というペタな授業で私のはじめてのカンボジアでの授業は終わりました。

帰国すると、日本の高校生には相当お金がかかっていることに気づかされます。高級な制服を着て、髪もきれいに整えられ、すべてが光輝いているようです。そして、驚いたことに裸足の人は誰一人おらず、全員靴を履いているのです。しかしながら、心は満たされない日々を過ごしている人がたくさんいます。日本は、なにか、大切なことをはき違えてしまっているような気がしなくもありません。

カンボジアの諺に「人は言葉、象は牙」というものがあります。人は言葉でその人の人間性が分かり、象は牙でその善し悪しが分かるというものです。車のバッテリー、電灯の薄明かりの中で言葉を学ぶ中学生。片道二時間歩いて登校し、言葉を学ぶ小学生。整った環境の中で悩みを抱えながら言葉を学ぶ高校生。そして私も言葉を学び続ける者です。世界中の子供たちが一生懸命言葉を学んでいきます。その言葉は牙をむくことなく、平和の道具として使われなければなりません。そのためには私達人ひとりが進みゆく道、「進路」を間違えないようにしなければならぬのでしよう。そんなことを考えるきっかけとなったのがプレイチャンボック村での生活だったので、村の皆さんさようなら、また会う日まで。



アンコールワット

◆令和元年度 3年次進路状況 (2月1日現在)

Table showing career status for the 3rd year of the Reiwa 1st year. Columns include gender, education level (university, short-term university, etc.), and industry (public, private, etc.).

内定先一覧

Comprehensive list of career destinations categorized by institution type: National/Local Public Universities (3), Private Universities (2), Specialized Schools (27), and Private Companies (41). Includes specific school names and department names.

◆令和元年度 2年次1月進路希望状況 (1月7日実施)

Table showing career aspirations for the 2nd year, 1st month. Columns include gender, education level, and industry.

◆令和元年度 1年次1月進路希望状況 (1月7日実施)

Table showing career aspirations for the 1st year, 1st month. Columns include gender, education level, and industry.

時代の変化の兆し

進路部長 佐藤眞由美
【令和元年度 進路内定状況】
《進学》

今年の3年生は入学当初から看護医療系への希望者が多い学年であった。県内に看護師養成校が少ない現状に加え、山形県全体に資格志向の傾向もあり、受験先の選択に苦勞のあとが見られた。例年よりも県外の養成校への進学が増加した。

山形大学・県立保健医療大学をはじめとした四年制大学への進学は、県内と仙台市に集中している。推薦入試での合格が多い点は例年と変わらないが、今年は山形大学のAO入試や東北公益文科大学のギャップイヤー入試といった、自分の実績や今後の課題をプレゼンテーションするといった入試へのチャレンジが目立った。来年度から大学入試のシステムが変わる中、総合学科の特色を生かした入試方法として注目すべきであろう。

また、高大連携事業を行っている羽陽学園短大を中心とした短大進学も、県内を中心に安定している。
《就職・公務員》

就職・公務員も地元志向が顕著であった。41名の民間就職内定者中、県外就職は1名、公務員も10名中県外は自衛官を含め5名である。

就職は順調に内定を得たが、一度目で採用に至らなかったのは事務系希望者に集中している。例年以上に事務系希望者が多く、求人

票公開後も希望の変更がなかったという事情がある。ただし二度目の受験では全員内定を得ている。

また、特徴的だったのは、職種を限定しない求人が出てきている点である。「事務」「製造」「サービス」といった明確な区分ではなく、複数職種を組み合わせた求人が見られるようになった。入社後に適性を見て判断するものと考えられる。人手不足もありマルチな働きぶりを求められていると言えよう。

公務員希望者に関しては、今年 は天童市役所の受験日が遅かったため受験者が集中し、本校生は苦戦を強いられた。

きれいな花を咲かせよう

一年次主任 今井祐美子

よく保護者の方から「先生は若い子達と毎日一緒にいられていいね」と言われます。似合わなくなってきましたが、クラスマッチでは生徒と同じTシャツ着て、授業では一緒に身体を動かし、卒業式では泣く。そんな姿を見ての感想でしょう。三十年前、この職に就けるよう勉強と水泳に打ち込んだことを思い出します。私が今この仕事に幸せを感じていられるのは、あの時の努力のおかげだと思います。

思い描く幸せ像はそれぞれ違いますが、♪しあわせは歩いてこない♪だから歩いてゆくんだね♪自分から前に進んでいかないと幸せはつかめません。でも、何に向かっ

て進めばいいのかわからないと進みようがありません。今立ち止まっている人は現状をきちんと認め、道探しをしましょう。♪一日

一歩三日で三歩 三歩進んで二歩 さがる♪やればやるだけ成果が上がって、前に進めればいいのですが、やっていると正しいのか、違う方法の方がいいのか迷うこともあります。時には振り返って見つめ直すことが大切です。自分で判断ができれば周りに相談しましょう。友達、先輩、家族も貴重ですが、同じような高校生に

ずつと関わり続けている私たち教員も活用してください。♪人生はワン・ツー・パンチ 汗かきベソかき歩こうよ♪今やるうと思つたことを一生懸命ひたすらやることで、辛いこともたくさんあると思えます。でも、やったからこそ♪あなたのつけた足あとにや きれいな花が咲くでしょう♪

みんなにきれいな花が咲くように、私たちは応援し、修正し、支えていきます。みんなは高校時代の今やるべきことを見失うことなく、聞く耳、受け入れる心を大切に。そして幸せな自分のイメージに向かつて頑張りましょう！

チャンスは自分でつかみとろう

二年次主任 後藤 功

昨年の9月以降、私は3年生と就職・推薦試験に向けた面接・作文・小論文・志望理由書作成に関わる機会がありました。その日の

メニユーを終えると、外は真つ暗という毎日でした。ある女子生徒の採用試験面接は15回ほど行いましたが、最後まで一切嫌な顔せずに取り組み、見事合格しました。

最終練習にはお母さんに来ていただき、見てもらいました。同時に推薦入試に向け提出する志望理由書を書いている生徒がいました。その学校に行くことを熱望しているはずなのに、なかなか志望理由が書けない。ようやく書いても、私から「気持ち伝わらない文章。」とバツサリ。(当の本人もそう思っていたそうです。)800字で10回以上書き直しさせました。

面接での受け答えもありきたりで、「それ本音?あなたの個性、感じないよ。」など、ずいぶんひどいことも言いました。最後に「大変だったが、落ちても悔いがないものができた」と言っていました。この生徒も無事合格し、挨拶に来た顔は晴ればれとしていました。

この2名以外にも、自ら練習を申し出た生徒もいましたが、やはり相当キツイことを言いました。しかし、生徒も本気で臨んでいるので、お互いに充実した時間でした。この指導の間、目の前にいた生徒全員に共通していたことは、

「本気の根性があったこと。」

「本気でやったこと。」

本気で考え、本気で取り組んだ3年生は素晴らしかった。2年生にもいつか、こういう気持ちで全面に出て行動できることを期待しています。

合格者インタビュー

経験は力なり

山形県立保健医療大学
保健医療学部 作業療法学科
柴田 菜々

A Q
なぜその大学・学部・学科を選んだのですか？
1年生で参加した作業療法体験で、医療職の中でも対象者の「生活」に寄り添って日常的な動作を取り入れたいハビリティセッションを行っている仕事に魅力を感じました。成績面でも迷いましたが、考えるたびに作業療法士になりたい自分がいて、諦めきれず覚悟を決めました。この大学を選んだ理由は、将来生まれ育った山形県に恩返しするため、山形に密着しながら地域における作業療法士の役割を研究できると思ったからです。コロナド州立立大学との交流もあり、私が目標とする一人一人に合わせたハビリティセッションを学べると考えました。

A Q
受験対策や勉強の工夫、自分の強みは？
推薦入試で受験したので、苦手な小論文は担当の先生から添削してもらい、毎日2題は練習しました。面接は自分の思いをぶつけるチャンスだと思い、作業療法体験で感じたこと、訪問調査で学んだことなど「自分にしかない」ことを伝える練習をしました。最初はうまく言葉にできませんでした。最初も書いてみることで次第にまとまって話せるようになりました。自分の強みは興味のあることに積極的に取り組んだことでたくさんさんの経験ができ、それによって自分の作業療法士としてのしつかりとした将来像を持つことができたことです。後輩へのアドバイス
自分のやりたいことは何でも経験した方がよいです。結果が出なくても失敗しても必ず自分の力になります。本当に怖いのは「何もない」ことだと思います。今しなければならぬことを優先し、評定などあつて困らないものをたくさん準備して頑張ってください。応援しています。

好奇心の身勝手に大事に

東北学院大学
経済学部 共生社会経済学科
菊地 大雅

A Q
なぜその大学・学部・学科を選んだのですか？
ただ単に自分の興味・関心を活かすことのできる学部・学科を選びました。そしてその上で4年間を充実して全うできるかを調べました。具体的には開講科目や必要な単位を調べ、やりたいことと本当に合致するかを再検討しました。

A Q
受験対策や勉強の工夫、自分の強みは？
まず意識として、一般入試で合格する気はありました。通点としてAO入試や推薦入試を利用しましたが、うまくいかなかった時の痛みを小さくするために、目の前のことだけに注力することはしませんでした。並行して、目指す分野に関するニュースに対して一通りの理解と自分なりの意見を持つように、毎日新聞を読むことだけは欠かせませんでした。たかが15分ですが、小論文対策や面接対策にもなるので侮れません。また、興味はとことん突き詰めました。自分の時間を長くとれる学校にいますから、これを利用して、ボランティアやワークシヨップなどに参加して、これから出ていく世界を少しでも知ろうとしました。後輩へのアドバイス
知るといふことに対して食欲になってほしいです。言いかえれば、学校の授業からもう一歩だけ先に踏み出して自分から学ぶ。調べる姿勢でいるということです。行動を起こすのに早いなんてことはありません。遅ければ遅いほど将来にツケを回すだけで

夢の実現に向けて 天童市役所(消防)

佐藤 亮真

A Q
なぜ天童市消防を目指したのですか？
1年次は、漠然と公務員を希望して、講習を受けていました。2年次に自分のやりたいことを考えた結果「人を救う仕事が好き」と思うようになり、消防士に興味を持ちました。調べていくうちに災害の最前線で人命救助や消火活動を行う姿を見て、興味から目標に変わりました。

A Q
受験対策や勉強の工夫、自分の強みは？
天童市は、私が生まれ育った町です。将来は地元で貢献したいと考えていましたし、天童夏祭りなどの地域のイベントに参加する中で、自然とこの街を守りたいと強く感じ、天童市消防本部を選びました。

A Q
後輩へのアドバイス
公務員試験は他の試験よりも期間が長くあります。早ければ7月に始まり、終わりは12月以降になることもあります。しかし、いざ振り返ってみるとあつという間に過ぎていったと感じます。これから受験する皆さんは、明日頑張ろうと思うのではなく、今日だけ頑張ろうという気持ちで、一日一日を大切にしてください。悔いのない選択ができるよう、全力で頑張ってください。応援しています。

進路実現のために

株式会社 ウンノハウス
鈴木 夢

A Q
なぜウンノハウスを選んだのですか？
企業見学に参加した時、社員の方と打ち合わせをするお客様が終始笑顔でいる姿を目にして、社内の雰囲気を感じました。地元企業でもあり、森づくり活動やSDGsに取り組みなどとして、地域や社会に貢献している点や、お客様の信頼に応えるサービスを提供している点に魅力を感じました。また、会計ビジネス系列に所属し、取得した資格を社会に出たら活かしたいと考えたため、事務職として、家づくりというお客様の人生における一大イベントをかがえのれないものにしたと強く思ったことが一番の理由です。

A Q
受験対策や勉強の工夫、自分の強みは？
試験内容は、面接と作文、適性検査でした。適性検査(SPI)は、問題集を解いて分からないところは先生や友達に教えてもらいました。面接練習は特に力を入れて取り組みました。会社についてどんなことを聞かれても対応できるよう、ホームページやパンフレットを読み込みました。昼休みや放課後に先生方から面接指導をしてもらい、アドバイスは面接ノートに書きとめて次の練習に活かせるよう何度も繰り返し、質を高めることを意識しました。作文も同様に、添削してもらったものを書き直ししながら、一日一題書くことを目標にしました。周りの友達からも刺激をもらい、励まし合いながら対策を進めました。

A Q
後輩へのアドバイス
「時は金なり」という言葉があるように、今ある時間を大切にしてください。今を思いきり楽しみながら、自分の将来についてたくさん悩んで、少しずつ努力していくことは、これからの自信に繋がります。充実した高校生活にしてください。応援しています。